



島教協

《 すべては「子どもたちのために」 》 情 報

http://www.kyougikai.org

E-mail
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 吉田 修 編集人 岡 利行 No.704

第35回教育研究全国大会(徳島大会)

大会主題

「新しい時代を創造する力を育む教育実践」
～ 高い志をもち、主体的協働的に学ぶ ～

子供の育成を通して

八月四日(土)、五日(日)、JRホテルクレメント徳島、ホテルグランドパレス徳島、四国大学交流プラザにて、教育研究全国大会が開催されました。

一日目は、全国各団体より選出された教職員の提案発表が、七分科会に分かれて行われました。島教協からは、出雲市立塩冶小学校の前島和美教諭が、「主体性・社会性を育む機能的な生徒指導体制」がテーマの第四分科会で提案発表を行いました。提案のテーマは「一人一人を支える居場所づくり ～チーム支援と連携～」です。不登校傾向や集団への不適応があり、教室に入りにくい児童に対して、適切な支援や指導を行うための連携のありようや取り組みの実際を発表されました。その後、外国にルーツを持つ児童への支援体制、支援体制構築上の問題点・留意点、SSW・SCとの連携の実際についての質問がなされ、活発な研究協議が行われました。助言者の鳴門教育大学教職大学院教授阪根健二先生からは、個人差に対してどう対応するか、つまりだれがどうするかをマッチングする仕掛け作りがしてあり、医者と同じようにチームでカンファレンスしている実践的な取り組みとして高い評価を得ました。

分科会に引き続き、助言者ゼミナールが行われ、各会場で様々な教育課題について最新の情報を基にした内容の濃い講話がなされました。二日目の全体会には下間康行文部科学省大臣官房審議官をはじめたくさんの方々が臨席され、全日教連の活動に力強いエールを送ってくださいました。



また、記念講演は「日本はなぜ世界でいちばん人気があるのか」という演題で、講師は作家の竹田恒泰氏でした。『歴史の教科書には書かれてないが、日本人は先土器時代の太古から物作りの世界最先端にいた事実や、現在世界で最も古くからある国は日本である事実をきちんと伝えることで子どもたちは日本に誇りを持つことができると。日本は歴史を通してずっと天皇が国民を愛し、国民が天皇を支えてきたから王朝交替がなく2000年続いている良い国であり、分け合う社会である。そして日本人は、世のため人のために生きること、喜びを感じるという和の精神がある。その力で明治維新の時と戦後の2回、短い間で世界有数の経済大国になることができた。この「世のため人のため」という日本人の価値観を次の世代につなげていくことが大切である」と、たくさんの方々の事例を交えながら語られ、我々教職員に期待とエールを送られました。



参加者からは「分科会で他県の取り組みや実践が刺激になった。2学期に生かしたい。」「ゼミナールでは現場で生きる視点をいただいた。」「講演会で日本の良さ、日本人の良さを認識でき、それを受け継いでいきたい。」「との感想をいただきました。

平成三十年七月豪雨災害に義援金

七月月上旬に西日本におい

て集中豪雨が発生しました。全日教連から、被災地の復興と学校をはじめとする避難所の運営、子どもたちの学校生活や学習活動を平常に戻すために必要な財政的支援につなげるために、被災地域へ義援金を送るとの要請が各単位団体に行きました。島教協は役員・執行委員により協議を行い、この要請に協力することにいたしました。基金積立金の中から三万円を拠出し、直ちに全日教連へ送金をおこないました。会員の皆様におかれましては、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

平成30年人事院勧告(国家公務員)について

平成30年8月10日、人事院は、国会及び内閣に対し、国家公務員の給与及び勤務時間について勧告しました。

人事院勧告は、一般職の職員の給与について報告と勧告、一般職の職員の勤務時間についての報告と勧告、あわせて、公務員人事管理についての報告から成り立っています。

人事院勧告は、即決定ではありません。

民間の給与と月例給与や特別給与の支給割合と国家公務員の給与や特別給与を比較し、民間給与との較差を是正するために、国会と内閣に対して勧告するものです。今後、内閣が案をつくり国会で決定されます。

私たち島根県の公立学校教職員の給与等は、島根県人事委員会が県議会と知事に対して行う「職員の給与等に関する勧告」に基づき改定されます。また幼稚園職員の給与等は、市町村ごとに改定されます。

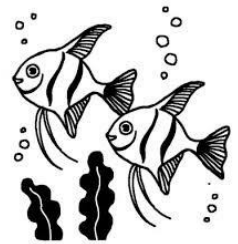
国の人事院勧告は、地方の人事委員会勧告や給与改定の指標ともなっています。

島教協は、今年度も島根県人事委員会に対して、給与改定を始め、勤務条件等の改善についての要望を行う予定です。

今年の人事院勧告の骨子は次のとおりです。

月例給与、ボーナスともに引上げ (5年連続)

- ①月例給与 民間給与との格差 0.16%を埋めるため、俸給表の水準を引上げ
俸給表の水準は、400円の引き上げを基本に改定(平均改定率 0.2%)
初任給与は、1,500円引き上げ
若年層についても1,000円程度の改定
- ②ボーナス 0.05月分を引上げ 民間の支給状況等を踏まえ勤勉手当に配分
平成30年度 12月期 勤勉手当0.95月(現行0.90月)
平成31年度以降 6月期 勤勉手当0.925月
12月期 勤勉手当0.925月
- ③実施時期 月例給与 平成30年4月1日
ボーナス 法律の公布日



全日教連署名活動 協力をお願い

全日教連は、教育専門職として、日本の将来を担う子供たちへの教育に従事する私たち教職員の願いを政府及び国会に伝えるために、本年度も署名活動を実施することになり、島教協はこの活動に協力することにいたしました。

各小学校・中学校・幼稚園の代表者宛に、署名のお願いを送付いたしました。

リーフレット・署名簿をご覧の上、主旨に賛同していただける多くの方々の署名をお願いします。

会員以外にも署名をしていただけます。また家族の方にも理解していただける良い機会です。

全国から集められた署名簿は、内閣総理大臣と衆議院議長に提出されます。

会員お一人につき、水色と桃色の2種類の署名簿に5筆(5人分)の署名を集めましょう。

島教協相互援助規定のご紹介

- ①結婚祝金の給付 5,000円
②出産祝金の給付 5,000円
③永年勤続祝金の給付 5,000円
④病氣見舞金の給付 5,000円
(傷病約1ヶ月の療養)
⑤災害見舞金の給付
(住宅又は家財の損害を受けたとき
程度に応じて)
⑥死亡弔慰金
(会員・会員配偶者死亡)

上記の規定に該当するときは、
ご本人または学校代表は、
事務局まで連絡をお願いします。
(電話0853-22-7762)

島教協会員証特典のご紹介

「T・ジョイ出雲」劇場売店にて
(ゆめタウン出雲 東館3階)
「島教協会員証を提示する」と

売店人気ナンバー1の
ポップコーンセット
(通常750円)を
ワンコイン(500円)で
購入できます!

ぜひ、
劇場売店へお立ち寄りください。
同伴者も同様の対応ができます。

新会員加入助成のご紹介

① 新規に会員が加入された場合
単組・支部と学校にそれぞれ
2,000円(講師は500円)の
加入助成金を支給します。

② 勧誘活動の助成
学校や専門部会において、新規に
会員を勧誘するための茶話会等を行
われる場合は、その経費の一部を助
成します。
島教協事務局までご相談ください

こんな制度も利用して、
新会員を増やしていきましょう!